Monterra™

ユーザーマニュアル



I.D.A. Inc.

目　次

はじめに　..1
デバイスについて
電池
　電池パックの装着
　単三電池の装着. 2
デバイスの電源を入れる
デバイスの設定
タッチスクリーンを使う
ホーム画面
　お知らせを見る
GPS情 報
デバイスソフトウェアの更新
タッチスクリーンのロックと解除
ウェイポイント、ルート、トラック
ウェイポイント
　ウェイポイントの作成
　地図上でウェイポイントを付ける
　ウェイポイントを探す
　ウェイポイントの編集. 3
　ウェイポイントの削除
　ウェイポイント位置をより正確にする
　ウェイポイントの計画
Where To?
　オプション地図(別売)
　名称から場所を探す
　他の位置の近くで位置を探す
　住所で探す
ルート
　ルートの作成
　ルートの名前の編集
　地図上でルートを見る
　ルートの編集
　ルートの削除
　アクティブルートを見る
　ルートを逆にする
トラック.. 4
　トラックの記録の一時停止
　トラックログをカスタマイズする
　トラックログに従う
　現在のトラックを保存する
　トラックの高度表示を見る
　トラックの色を変更する
　保存されたトラックをアーカイブする
　現在のトラックをクリアにする
　トラックの削除
Garmin Adventures（ガーミンアドベンチャー）
　BaseCampへファイルを送る
　アドベンチャーの作成
　アドベンチャーを開始する
ナビゲーション
目的地へのナビゲーション.. 5
　ナビゲーションの停止
地図でナビゲーション
　走行ルートのナビゲーション
コンパスでナビゲーションする
　コンパスの校正
　コースポインター
Sight 'N Goでナビゲーション
標高表示
　高度表示上のポイントへナビゲーションする
　表示タイプの変更
　高度表示のリセット
　気圧高度計の校正
トリップコンピューター.. 5
　トリップコンピューターのリセット
写真とビデオ..6
写真を撮る
　パノラマ写真を撮る
ビデオ撮影
写真とビデオを閲覧する
ジオキャッシュ
ジオキャッシュのダウンロード
ジオキャッシュリストのフィルタリング
　ジオキャッシュフィルターの作成と保存
　保存したジオキャッシュフィルターを適用する
　カスタムジオキャッシュフィルターの編集
ジオキャッシュまでのナビゲーション
記録を残す
Chirp®
　Chirpを使ってジオキャッシュを見つける......................7
アプリケーション
アプリケーションのインストール
Proximityアラームの設定
フラッシュライトを使う
面積計算
衛星画面
　衛星画面の変更
NOAA®気象ラジオを聴く
FMラジオを聴く
天気データを見る
デバイスのカスタマイズ
ホーム画面にショートカットとウィジェットを追加する
画面の回転.. 8
　画面の方向をロックする
地図の設定
データフィールドとダッシュボードのカスタム
　マップデータフィールドを有効にする
　データフィールドのカスタマイズ
　ダッシュボードのカスタマイズ
トラック設定
ルート設定
計測単位の変更
位置フォーマット(Position Format)の設定
方位の設定..9
高度の設定
Proximityアラームの設定
ワイヤレスネットワークの設定
Bluetooth®機器とのペアリング
ANT+®センサーとのペアリング
機内モードを有効にする
プロフィール
　プロフィールの選択
　カスタムプロフィールの作成
　プロフィール名のカスタマイズ.................................. 10
　プロフィールの削除
サウンドの設定
画面の設定
アカウントの追加
ロック画面セキュリティの変更
言語と入力の設定
データのバックアップ
工場出荷状態に戻す
日時の設定
デバイス情報　..11
電池について
　電池寿命を最大限長持ちさせる
　デバイス充電時に省電力モードにする

長期間使用しない場合 11
デバイスのケアについて
デバイスのクリーニング
タッチスクリーンのクリーニング
浸水について
仕様
データ管理
ファイル形式
メモリーカードの装着
デバイスとコンピューターの接続 12
デバイスにファイルを送信する
ファイルを削除する
USBケーブルの接続を外す
トラブルシューティング
デバイス情報を見る
ソフトウェアの更新
デバイスのリセット
デバイスの登録

その他

アフターサービス
保証規定

はじめに

⚠ 注

同梱のImportant Safety and Product Information に記載のある製品についての注意とその他の重要な情報について、お読み下さい。

デバイスについて



①	カメラ
②	マイク
③	電源ボタン
④	LED ライ
⑤	音量調節ボタン
⑥	電池カバー Dリング
⑦	防水スピーカー
⑧	ヘッドフォンジャック（カバー
⑨	Mini-USB ポート(カバー下)

電池

⚠ 注

デバイスの温度定格は電池により使用範囲を超える事がございます。アルカリ電池は高温になると破裂しますので注意して下さい。

電池を外すときには鋭利な物で外さない様にして下さい。

⚠ 警

電池を処分する時にはお住まいの自治体で定められた方法で処分して下さい。

お知らせ

アルカリ電池は温度が低下すると、より電池を消耗しやすくなります。氷点下等の環境下ではリチウムイオン電池をご使用下さい。

電池パックの装着

⚠ 注

この製品にはリチウムイオン電池が同梱されています。電池の破裂や高温による人体への被害や製品の破損を避けるため、日の当たる場所で装着するようにして下さい。

1 Dリングを反時計回りに回し、電池カバーを外して下さい。

2 本体のメタル部分とリチウムイオン電池のメタル部分が一致するようにします。

3 メタル部分を先に装着するようにして下さい。



4 電池パックを電池パックスペースにはめこみます。

5 電池カバーを戻し、Dリングを時計回りに回します。

電池パックの充電

⚠ 注

この製品にはリチウムイオン電池が同梱されています。電池の破裂や高温による人体への被害や製品の破損を避けるため、日の当たる場所で装着しないようにして下さい。

お知らせ

腐食を防ぐ為、充電前やパソコンに接続する際には、mini-USBポート、ヘッドフォンジャックとその周辺を完全に乾燥させてから行って下さい。

GARMIN純正以外の電池はデバイスを使って充電しないで下さい。その場合、デバイスが破損する場合があり、保証は無効となります。

NOTE: 電池は外気温が32°F～113°F (0°C～45°C)の場合、充電を行いません。

ACアダプターを使って充電出来ます。別売の充電アクセサリーを使って充電も出来ます。

1 ①のカバーを外し、②のUSBポートを出します。 .



2 mini-USBポートにUSBケーブルを差し込みます。

3 USBケーブルのもう一方をACアダプターへ差し込みます。

4 ACアダプターを家庭用コンセントへ差し込みます。
この時、電源が入ります。

5 電池を完全に充電させます。
充電状態は画面のバーで示されます。

6 USBケーブルをはずし、①のカバーを完全に閉じます。

電池パックを取り外す

⚠ 注

電池を取り外す時には鋭利な物で外さない様にして下さい。

1 Dリングを反時計回りに回し、電池カバーを外して下さい。

2 電源ボタンに近い電池パックの横側を引き上げます。

単３電池の装着

電池パック(p.1)の代用として、単３型のアルカリ、ニッケル水素、リチウムイオン電池が使えます。外出先で電池パックの充電が出来ない時に便利です。特にニッケル水素電池、又はリチウムイオン電池を使うと良いでしょう。

NOTE: カメラを使用する時には標準のアルカリ電池を使用する事はお勧めしません。

1 Dリングを反時計回りに回し、電池カバーを外して下さい。

2 単３電池の極性が合うように装着します。



3 電池カバーを戻し、Dリングを時計回りに回します。

デバイスの電源を入れる

⏻ を押します。

デバイスの設定

デバイスに電源を入れると最初に初期設定を行います。
また、アカウント設定も出来ます。

1 電源を入れます。

2 画面の指示に従って設定を進めて下さい。

タッチスクリーンを使う

- ドラッグ、またはスワイプで画面をスクロール等出来ます。
- 2本の指でつまむと縮小出来ます。
- 2本の指で広げると拡大出来ます。
- 各画面の選択で別の操作が出来ます。
- ⮌を選択すると前のページへ戻ります。
- ⌂を選択するとホーム画面へ戻ります。
- ☰ を選択すると閲覧中のページの追加オプションを見ることが出来ます。

ホーム画面



①	下方向へスワイプしてお知らせを閲覧
②	検索時の文字入力
③	左右のスワイプでページの切り替え ショートカットのカスタマイズ、ウィジェット、壁紙
④	ショートカットをドッグへ入れる、外す
⑤	タッチしてすべてのインストール済アプリを表示

お知らせを見る

1 画面上から下へスワイプします。
お知らせのリストが表示されます。

2 オプションの選択:
- お知らせ表示のあるアプリ等を始める場合は、そのお知らせを選択します。
- 不要なお知らせは、そのお知らせを右方向へスワイプさせます。

GPS情報

Settings> **Location services** > **GPS satellites**を選択。

デバイスソフトウェアの更新

デバイスソフトウェアを更新する前に、ワイヤレスネットワークに接続します。

ワイヤレスネットワークへの接続時、デバイスは定期的にソフトウェア更新情報を確認します。更新がある場合はそのお知らせが表示されます。また、手動で更新情報の確認も出来ます。

1 オプションの選択:
- ソフトウェア更新のお知らせが表示されたら，画面上から下へスワイプし、**New software update Available**を選択します。
- 手動で更新情報を確認するには、**Settings** > **About Monterra** > **System updates**を選択します。

デバイスが更新情報を確認するのに、数分かかる場合があります。

2 **Download**を選択し画面の指示に従って下さい。

タッチスクリーンのロックと解除

不意の画面タッチを避けるため、画面のロックが出来ます。

1 電源ボタンを長押しします。

2 **Touch Lock** を選択し、画面ロックのON/OFFを切替ます。

ウェイポイント・ルート・トラック

ウェイポイント

ウェイポイントはデバイス内に保存する位置情報です。

ウェイポイントの作成

現在地をウェイポイントとして保存する。

1 **Mark Waypoint**を選択します。

2 必要に応じて、**Edit**を選択し、名前や他のウェイポイントデータの変更を行います。

3 **Save**で保存します。

地図を使ってウェイポイントを付ける

1 **Map**を選択します。

2 地図上で位置を選択します。

3 画面上部の情報バーを選択します。

4 💾を選択します。

ウェイポイントを探す

1 **Waypoint Manager**を選択します。

2 オプションを選択:
- 🔍 を選択し、ウェイポイント名を探します。
- **All**を選択し、記号タイプを選択してウェイポイントの記号で探します。

- ☰ > **Search Near**の順に選択し、最近見つけた場所、他のウェイポイント、現在地、または地図上のポイントを探します。

3 リストからウェイポイントを選択します。

ウェイポイントの編集

ウェイポイントの編集前にウェイポイントの作成が必要です。

1 **Waypoint Manager**を選択します。
2 ウェイポイントを選択します。
3 名前等、編集したい項目を選択します。
4 変更する情報を入力します。

ウェイポイントの削除

1 **Waypoint Manager**を選択します。
2 ウェイポイントを選択します。
3 ☰ > **Delete**で削除します。

ウェイポイント位置をより正確にする

ウェイポイント位置をより正確なものにします。 平均にする時、デバイスは同じ位置で複数読み込みを行い、平均値を使いより正確なものを割り出します。

1 **Waypoint Manager**を選択します。
2 ウェイポイントを選択します。
3 ☰ > **Average Location**を選択します。
4 ウェイポイント位置へ移動します。
5 **Start**を選択します。
6 画面の指示に従い操作します。
7 信頼度を示すステータスバーが 100%に達したら、**Save**を選択します。より良い結果を出すため、4〜8個のサンプルを集め、少なくとも90分待ちます。

ウェイポイントの計画

距離とマークされた位置から新しい位置への方向の計画により新しい位置を作成出来ます。

1 **Waypoint Manager**を選択します。
2 ウェイポイントを選択します。
3 ☰ > **Project New Waypoint**を選択します。
4 方向と距離を入力します。
5 **Save**を選択します。

Where To? メニュー

Where To? メニューを使い、ナビゲートする目的地を探します。全ての**Where To?** カテゴリーが全てのエリアやマップに有効ではございません。

オプション地図(別売)

このデバイスには別売りの詳細地図(City Navigator等で日本国外のみの地図)が使用出来ます。
詳細地図にはレストランなどのPOI情報が含まれております。
地図の詳細については以下URLをご参照下さい。
http://item.rakuten.co.jp/ida-online/c/0000000233/

名称から場所を探す

場所の名称からPOIやウェイポイント、トラック、ジオキャッシュ等の保存データを検索できます。

1 **Where To?** > 🔍 を選択します。
2 名称または、名称の一部を入力します。
3 検索結果から位置を選択します。

他の位置の近くで位置を探す

1 **Where To?** > ☰ > **Search Near**を選択します。
2 オプションを選択します。
3 位置を選択します。

住所で探す

City Navigatorの詳細地図を使い住所で探すことが出来ます。

1 **Where To?** > **Addresses**を選択します。
2 必要であれば国、州等を選択します。
3 市名、郵便番号を入力します。
NOTE: 全地図データが郵便番号検索対応しているとは限りません。
4 市を選択します。
5 家番号を入力します。
6 通り名選択します。

ルート

ルートは最終目的地までのウェイポイントや位置が並んだもので出来ています。

ルートの作成

1 **Route Planner** > ✚ > ✚ を選択します。
2 カテゴリーを選択します。
3 ルートの最初のポイントを選択します。
4 **Use**を選択します。
5 ✚ を選択し、追加ポイントを追加します。
6 ⮌を選択し、ルートを保存します。

ルートの名前の編集

1 **Route Planner**を選択します。
2 ルートを選択します。
3 **Name**を選択します。
4 新しい名前を入力します。

地図上でルートを見る

1 **Route Planner**を選択します。
2 ルートを選択します。
3 左へスワイプして地図を見ます。

ルートの編集

1 **Route Planner**を選択します。
2 ルートを選択します。
3 オプションを選択:
   - 地図上のポイントを見るにはポイントを選択します。
   - ルート上のポイント順を変更するには、リスト上でポイントを上下へドラッグし移動します。
   - ルートにポイントを追加する場合は、✚ を選択します。
   - ルートからポイントを削除する場合には、ポイントを長押しし、🗑を選択します。

ルートの削除

1 **Route Planner**を選択します。
2 ルートを長押しします。
3 🗑を選択します。

アクティブルートを見る

1 ルートのナビゲート中、画面上から下へスワイプします。
2 ➦を選択します。

ルートを逆にする

1 **Route Planner**を選択します。
2 ルートを選択します。
3 ☰ > **Reverse Route**を選択します。

トラック

トラックは道のりの記録です。トラックログは記録された時間、位置、高度等を含む、道のりに沿ったポイントの情報が含まれています。

トラックの記録の一時停止

1 画面上部から下へスワイプします。
お知らせの一覧が表示されます。
2 **Track Recording On** の隣にある を選択します。

トラックログをカスタマイズする

デバイスの表示方法やトラックの記録をカスタマイズ出来ます。

1 **Settings** > **Tracks**を選択します。
2 **Record**を選択し、トラックログのON/OFFを切り替えます。
3 **Show on Map**を選択し、地図上のトラックログのON/OFFを切り替えます。
これを有効としている場合、地図上のラインはトラックを表示します。
4 **Color**を選択し、地図上のトラックログの色を選択します。
5 **Record Method**を選択します。
6 オプションを選択:
- 最良のトラックを作成する可変レートでのトラックの記録をするには、**Auto**を選択します。
- 距離でトラックを記録するには、**Distance**を選択します。
- 時間でトラックを記録するには、**Time**を選択します。

7 **Interval**を選択します。
8 設定を完了させます:
- **Record Method**で**Auto**を選択した場合、トラック記録のオプションを選択します。
NOTE: **Most Often** を選択すると、最も詳細にトラックが記録されますが、ﾃﾞﾊﾞｲｽの容量がすぐに無くなり易いです。
- **Record Method**で**Distance** または**Time**を選択した場合、値を入力し、**OK**を選択します。

トラックログに従う

ナビゲーション中、トラックログの最初の地点へ戻るナビゲーションが出来ます。道を元に戻る場合、キャンプへ戻る場合に役立ちます。

1 **Track Manager** > **Current Track** > **View Map** > **TrackBack**を選択します。
地図はルートをマゼンタ色のラインで表示し、スタートポイント、終着ポイントを表示します。
2 地図あるいはコンパスを使いナビゲートします。

現在のトラックを保存する

1 **Track Manager** > **Current Track**を選択します。
2 を選択します。

トラックの高度表示を見る

1 **Track Manager**を選択します。
2 トラックを選択します。
3 画面を右へスワイプして高度表示画面を見ます。

トラックの色を変更する

トラックの色を変更して、地図上で見やすくし、他のトラックとの区別をします。

1 **Track Manager**を選択します。
2 トラックを選択します。
3 **Track Color**を選択します。
4 お好みの色を選択します。

保存されたトラックをアーカイブする

保存されたトラックをメモリーへ保存します。

1 **Settings** > **Tracks** > **Auto Archive**を選択します。
2 **When Full**、**Daily**、**Weekly**のいずれかを選択します。

現在のトラックをクリアにする

Track Manager > **Current Track** > を選択します。

トラックの削除

1 **Track Manager**を選択します。
2 トラックを選択します。
3 ☰ > **Delete**を選択します。

Garmin Adventures(ｶﾞｰﾐﾝｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｬｰ)

あなたの探検を家族、友人、GARMINコミュニティで共有する為にアドベンチャーを作成出来ます。例えば、最後に行ったハイキングをアドベンチャーとして作成。アドベンチャーはトラックログ、写真、あなたが獲得したジオキャッシュ等が含まれています。BaseCampを使って管理も出来ます。詳細はこちらをご参照下さい。
詳細はURLをご参照下さい。http://adventures.garmin.com.

BaseCamp(ベースキャンプ)へファイルを送る

1 BaseCampを起動します。
2 デバイスをパソコンへ接続します。
Windows コンピューター上では、デバイスはリムーバブルドライブ、またはポータブルデバイスとして表示され、メモリーカードは2番目のリムーバブルドライブとして表示されます。Macコンピューター上では、デバイスとメモリーカードはマウントボリュームとして表示されます。
NOTE: コンピューターによっては複数のネットワークドライブにより表示されない場合があります。オペレーティングシステムをご参照下さい。
3 **Garmin**又はメモリーカードドライブを開きます。
4 オプションの選択:
- 接続中のデバイスから送りたい項目を選択し、ドラッグでマイコレクション、あるいはリストへ入れます。
- BaseCampからは、**Device** > **Receive from Device**を選択し、デバイスを選択します。

アドベンチャーの作成

アドベンチャーを作成、デバイスに転送する前にBaseCampをPCへダウンロードし、デバイスからPCへトラックを転送して下さい。(p. 4)

1 BaseCampを起動します。
2 **File** > **New** > **Garmin Adventure**を選択します。
3 トラックを選択し、**Next**を選択します。
4 必要に応じて、BaseCampから必要な項目を選択します。
5 アドベンチャーの説明と名前等の必要事項を入力・完了させて下さい。
6 もしアドベンチャーのカバー写真を変更したい場合には、**Change**を選択し、別の写真を選択して下さい。
7 **Finish**を選択します。

アドベンチャーを開始する

アドベンチャーを開始する前に、BaseCampからデバイスへアドベンチャーを転送して下さい。

1 **Adventures**を選択します。
2 開始したいアドベンチャーを選択します。
3 **Start**で開始します。

ナビゲーション

ルートやトラックで、ウェイポイント、ジオキャッシュ等、デバイスに保存されているどんな位置へもナビゲーション出来ます。地図とコンパスを使い、目的地へナビゲーションします。

目的地へのナビゲーション

1 **Where To?** を選択します。
2 カテゴリーを選択します。
3 目的地を選択します。
4 **Go**を選択します。
地図が開きマゼンタ色で示されたルートが表示されます。
5 地図あるいはコンパスを使ってナビゲーションします。(p.5)

ナビゲーションの停止

地図またはコンパスから☰ > **Stop Navigation**を選択します。

地図でナビゲーションする

1 まず、目的地へのナビゲーションを始めます。(p.5)
2 **Map**を選択します。
青い▲マークは地図上での現在地を示します。
移動すると▲マークは移動しトラックログから外れます。
3 他の操作:
- 地図のドラッグで他のエリアを表示できます。
- ✚と ━ を使い地図の拡大/縮小が出来ます。
- 地図上で位置を選択 (ピンで表示)し、画面上部の情報バーを選択すると、選択した位置の情報が表示されます。

走行ルートのナビゲーション

道路のルートをナビゲーションする前に、City Navigatorを購入する必要があります。

1 **Settings** > **Profiles** > **Automotive** > **Make Current**を選択。
2 目的地を選択します。
3 地図を使ってナビゲーションします。
右折/左折時は地図上部の情報バーに表示され、音で右折/左折を知らせてくれます。

コンパスでナビゲーションする

目的地へナビゲーションする時、▲は移動している方向に関係なく、目的地の方向を示しています。

1 まず、目的地へのナビゲーションを始めます。(p.5)
2 **Compass**を選択します。
3 ▲がコンパスの上部を示すまで向きを変え、目的地の方向へ進んでいきます。

コンパスの校正

お知らせ

アウトドアではコンパスの校正を行います。方位の正確性を向上させるため、磁場の影響を受ける物(車両、ビル、電線等)の近くに立たない様にして下さい。

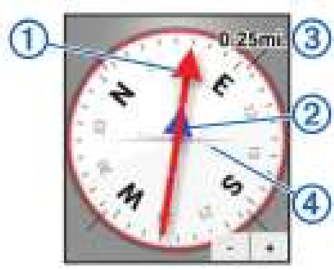
デバイスは工場ですでに校正されており、初期設定では自動で校正するよう設定されています。もし、コンパスの動作が異常であった場合（例：長距離移動後、激しい温度変化後等）、手動でコンパスを校正して下さい。

1 **Compass** >☰ > **Calibrate Compass** > **Start**を選択します。
2 画面の指示に従って下さい。

コースポインター

コースポインターは水上や道に大きな障害物がない場所等でとても役に立ちます。また、浅瀬や沈んでいる岩など、コース両サイドの危険な物を避けるために役に立ちます。

コースポインターを有効にするためには、コンパス画面より **Settings** > **Heading Settings** > **Go to Line/Pointer** > **Course (CDI)**を選択します。



コースポインター①は目的地を導くコースラインとの関係を示しています。コース脱線インジケーター(CDI)②はコースからの脱線傾向（右/左）を示しています。
数値③はコース脱線インジケーター上のドット④間の距離を示しており、コースからどの位離れているかが分かります。

Sight 'N Goを使ってナビゲーション

遠方にある対象物をポイントにし、その対象までナビゲーションする事が出来ます。

1 **Sight 'N Go**を選択します。
2 対象物にポイントを置きます。
3 **Lock Direction** > **Set Course**を選択します。
4 コンパスを使ってナビゲーションします。

高度表示

初期設定では高度表示は通ってきた道のり上の高度を表示します。
高度設定をカスタマイズするには p.9を参照して下さい。
どんなポイントを選択してもそのポイントに対する詳細を見る事が出来ます。

高度表示上のポイントへナビゲーションする

1 **Elevation Plot**を選択します。
2 任意のポイント1つを選択します。
そのポイントの詳細が表示されます。
3 ☰ > **View Map**を選択します。
4 画面上部の情報バーを選択します。
5 **Go**を選択します。
地図が開き、マゼンタ色で示されたルートが表示されます。
6 地図、またはコンパスを使ってナビゲートします (p. 5)。

表示タイプの変更

時間や距離上の気圧または高度表示に変更が出来ます。

1 **Elevation Plot** > ☰ > **Change Plot Type**を選択します。
2 オプションを選択します。

高度表示のリセット

Elevation Plot > ☰ > **Reset**を選択します。

気圧高度計の校正

デバイスは工場ですでに校正されており、初期設定では自動で校正するよう設定されています。 もし、正しい高度や気圧の値を知りたい場合は、手動で校正が出来ます。

1 高度あるいは気圧の値が分かる場所へ行きます。
2 **Elevation Plot** > ☰ > **Calibrate Altimeter**を選択します。
3 画面の指示に従って下さい。

トリップコンピューター

トリップコンピューターは現在の速度、平均速度、最高速度走行距離、その他役立つ数値を表示します。トリップコンピュピューターのレイアウト、ダッシュボード、データ画面をカスタマイズ出来ます。

メインメニューから**Trip Computer**を選択します。

トリップコンピューターのリセット

正しい情報を測定するため、使用前にリセットを行います。

Trip Computer > ☰ > **Reset** > **OK**を選択します。

写真とビデオ

このデバイスで写真とビデオ撮影が出来ます。GPSが有効であれば(p.2)、自動的に撮影位置を写真またはビデオ情報に保存されます。

写真を撮る

1 **Camera**を選択します。
2 デバイスを垂直もしくは平行にして写真の方向を決めます。
3 必要に応じて、写真をカスタマイズするオプションを選択します:
 - 撮影オプションでフラッシュ、露出、ホワイトバランス、シーン、位置情報を変更するには ☰ を選択します。
 - ズームイン/アウトはスライダーを選択します。
 - 焦点の変更はイメージの一部を選択します。
 デバイスは四角のブラケット内のエリアに焦点を置きます。焦点が定まると、四角のブラケットは緑色に変化します。
4 ●を選択し撮影します。

パノラマ写真を撮影する

パノラマモードを使い、風景等の大きく横に広がる画像を撮る事が出来ます。

1 **Camera** > を選択します。
2 カメラをショットの左端または右端へ向けます。
3 ●を選択します。
4 デバイスの位置を保ち、ゆっくりとデバイスを一方方向へ(左⇒右、又は右⇒左)回るよう動かします。
 早く動くとファインダー付近の赤フレームがフラッシュし、ゆっくり動くよう示します。
 ←これが青色に染まっていきます。 青色はファインダーに映し出されたエリアを示します。
5 オプションの選択:
 - パノラマ撮影を終了する地点で、● を選択します。
 - パノラマをいっぱいにキャプチャーしたい場合、 が完全に青色になるまでデバイスを動かします。

写真を保存する時、デバイスが写真のプレビューと、プログレスバー(パノラマ撮影進行状況を示したもの)を表示します。

ビデオ撮影

1 **Camera** > を選択します。
2 ● を選択します。
3 ビデオ撮影します。
4 ビデオ撮影終了時に、● を選択します。

写真とビデオを閲覧する

1 **Galleryを選択します。**
2 必要に応じてアルバムを選択します。
3 写真またはビデオを選択します。
 ビデオは ▶ で示されます。
4 右または左にスワイプして、他の写真やビデオを見ることが出来ます。

ジオキャッシュ

ジオキャッシュは隠れた宝物のような物です。ジオキャッシングは、ジオキャッシュを隠している人々によってオンライン上に掲示されるGPSコーディネートを用いて隠れた宝を探します。

ジオキャッシュのダウンロード

1 USBケーブルでデバイスとコンピューターを接続します。
2 www.opencaching.comへアクセスします。
3 必要であればアカウントを作成します。
4 サインインします。
5 画面の指示に従ってジオキャッシュをデバイスにダウンロードします。

ジオキャッシュリストのフィルタリング

ある条件下のもと(例：難易度など)、ジオキャッシュリストにフィルターをかけることが出来ます。

1 **Geocaching** > ▼ を選択します。
2 設定をカスタマイズし、⮌ を選択します。
 フィルターにかけられたジオキャッシュリストが表示。
3 💾 を選択し、フィルターを保存します(オプション)。

ジオキャッシュフィルターの作成と保存

ジオキャッシュに対してカスタムフィルターを作成・保存できます。設定後はジオキャッシュリストに適用できます。

1 **Geocaching** > ☰ > **Manage Filters** > ✚ を選択します。
2 名前を入力します。
3 フィルターオプションを選択し 、⮌ を選択します。

保存したジオキャッシュフィルターを適用する

ジオキャッシュフィルターを適用する前に、ジオキャッシュフィルターを作成・保存します。

1 ジオキャッシュリストから**All Geocaches**を選択します。
2 フィルターを選択します。

カスタムジオキャッシュフィルターの編集

1 **Settings** > **Geocaching** > ☰ > **Manage Filters**を選択します。
2 フィルターを選択します。
3 編集したい項目を選択します。

ジオキャッシュまでのナビゲーション

1 **Geocaching**を選択します。
2 ジオキャッシュを選択します。
3 **Go**を選択します。
4 地図またはコンパスを使いナビゲーションします。(p. 5)

記録を残す

ジオキャッシュを見つけようとした試みや結果を記録として残すことが出来ます。www.opencaching.comよりジオキャッシュの確認が出来ます。

1 **Geocaching** > **Log**を選択します。
2 **Found**、**Did Not Find**、**Needs Maintenance**、**Unattempted**より選択します。
3 コメントやジオキャッシュのレートを入力します(オプション)。
4 **Log**を選択します。

chirp

Chirpはジオキャッシュ内にプログラムされているGarminアクセサリーです。Chirpを見つけるためにデバイスで見つける事が出来ます。Chirpについての詳細はwww.garmin.comのchirp Owner's Manual をご参照下さい。

chirp を使ってジオキャッシュを見つける

chirp検索が可能な時、デバイスがchirpの近くにいるとき、アラートで知らせてくれます。これはchirpがジオキャッシュに含まれている時に役に立ちます。

1 **Chirp**を選択します。
2 切り替えでchirp検索可能に切り替えます。
3 chirpが含まれたジオキャッシュまでナビゲートします。(p. 6)
   Chirpがあるジオキャッシュの、10 m (33 ft.) 圏内に入ると、デバイスがアラートで知らせてくれます。
4 **Details**の選択でダウンロードし、chirpからの情報を見ることが出来ます。
5 可能であれば、**Go**を選択し、次のステージのジオキャッシュまでナビゲートします。

アプリケーション

アプリケーションのインストール

デバイス内へアプリケーションを購入・インストールする前にデバイスへGoogleアカウントを作成する必要があります。(p.10)

追加のアプリケーションはGoogle Playからインストール可能です。

1 Play Storeアイコンを選択します。
2 必要に応じて画面の指示に従ってアカウントを作成します。

Proximityアラームの設定

指定された特定の範囲内に入った時、近くである事を知らせてくれます。

1 **Proximity Alarms** > ✚ を選択します。
2 カテゴリーを選択します。
3 場所を選択します。
4 **Use**を選択します。
5 指定範囲に入り、**Done**を選択します。

Proximity アラームで特定のエリアに入ると、デバイスは音で知らせてくれます。

フラッシュライトを使う

NOTE: フラッシュライトを使うと電池寿命が短くなります。

Flashlight > ⏻ を選択します。

面積計算

1 **Area Calculation** > **Start**を選択します。
2 計算したいエリアの外周を歩きます。
3 歩き終わったら**Calculate**を選択します。

衛星画面

衛星の画面では現在地、GPS精度、衛星の位置、信号の強さを表示します。

衛星画面の変更

1 **Satellite** > ☰ を選択します。
2 必要に応じて、**Track Up** を選択し、現在のトラックで、画面上部に衛星画面が来るようにします。
3 必要に応じて、**Multicolor** の選択で、衛星や衛星の信号の強さの色を指定します。

NOAA®気象ラジオを聴く **(アメリカ合衆国内のみ)**

あらかじめデバイスにあるNOAA ラジオを使い、National Oceanic and Atmospheric Administration (NOAA)気象放送を聴く事が出来ます(アメリカ合衆国のみ)。NOAAラジオが放送を受信すると、デバイスはメッセージとお知らせと共に、気象アラートで知らせてくれます。

1 ヘッドフォンジャックからカバーを引き上げ、有線のヘッドフォンを接続します。
   ヘッドフォンの線は放送を受信する為のアンテナの役割をします。ヘッドフォンが接続されていなければラジオは機能しません。
2 **Weather Radio**を選択します。
3 オプションを選択:
   - 自動的に放送をスキャンするには**Auto Scan**を選択します。
   - チャンネルを手動で選択する場合、自動スキャンをしない場合、◀ と ▶ で選択します。
   - 内蔵スピーカーとヘッドフォンを切替る場合は、🔊を選択します。
     NOTE: ヘッドフォンは放送を受信しても接続したままの状態にしなくてはなりません。
   - 音声放送をON/OFFするには、 を選択します。
     デバイスは音声放送がOFFの時、気象アラートを受信し続けます。
   - ラジオをOFFする場合は、⏻を選択します。
     ラジオをOFFにすると、放送と気象アラート共に機能しません。

FMラジオを聴く **(※日本国内では受信出来ない事があります)**

1 ヘッドフォンジャックからカバーを引き上げ、有線のヘッドフォンを接続します。
   ヘッドフォンの線は放送を受信する為のアンテナの役割をします。ヘッドフォンが接続されていなければラジオは機能しません。
2 **FM Radio**を選択します。
3 オプションを選択:
   - 次、又は前の局に切り替える場合は、⏩ と ⏪ を選択します。
   - 特定の周波数に合わせる場合、チューナーをドラッグします。
   - あらかじめある周波数に追加する場合、✚ を選択します。
   - あらかじめある周波数に合わせる場合、周波数を選択します。
   - 内蔵スピーカーとヘッドフォンを切替る場合 🔊を選択します。
     NOTE: ヘッドフォンは放送を受信しても接続したままの状態にしなくてはなりません。
   - ラジオをOFFする場合は、⏻を選択します。

天候データを見る

気温データを見る前に、デバイストとtempe温度センサーをペアリングする必要があります。(p.12)

デバイスセンサーにより、温度、UV指数、気圧、環境気圧を含むデータを見ることが出来ます。

Weatherを選択します。

デバイスのカスタマイズ

ホーム画面にショートカットとウィジェットを追加する

ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加する事が出来ます。ウィジェットは情報、基本のアプリケーション機能、またデバイス設定に素早くアクセスできます。

1 ホーム画面から左または右へスワイプし、ホーム画面を選択します。
2 ⊕を選択します。

3 右または左にスワイプし、追加のアプリケーションやウィジェットを見ることが出来ます。
4 アプリケーションあるいはウィジェットを押しながら、ホーム画面のお好みの場所へドラッグします。

画面の回転

デバイスの向きを水平(横方向)又は、垂直(縦方向)に回転させ、見ることが出来ます。



画面の方向のロック

初期設定では、自動的にデバイスの向きに対し画面も動くよう設定されています。画面を水平モードあるいは垂直モードにロックする事が出来ます。

1 **Settings** > **Display** > **Screen Orientation Lock**を選択します。
2 オプションを選択します。

地図の設定

Settings > **Map**を選択します。

Orientation: ページ上で、表示方法の調節をします。**North Up**はページ上部を北として表示します。**Track Up** はページ上部を移動中の方向として表示します。**Automotive Mode**は上部を自動車の視点で見た方向として表示します。

Guidance Text: 地図上へのガイダンスの表示を設定します。

Dashboard: 地図上へのダッシュボード表示の設定をします。各ダッシュボード現在地やルートの異なる情報を表示します。

Layers: 地図ページ上の情報タイプ(ウェイポイントやPIO等)の表示を設定します。

Auto Zoom: 地図上で最適に使用する為、自動的に適切なズームレベルを選択します。

Zoom Buttons: 地図上のズームボタンの表示の有無を設定します。ズームボタンが隠れている場合、拡大/縮小はタッチスクリーン操作で行います (p. 2)。

Detail: 地図上での詳細レベルを設定します。より詳細にすると地図はよりゆっくりと表示されます。

Vehicle: 地図上で現在地を示すアイコンの設定をします。www.garmingarage.comより他のアイコンもダウンロード出来ます。

Map Information: デバイスに現在収納されている地図を有効/無効にする設定をします。

データフィールドとダッシュボードのカスタム

データフィールドでは現在地や詳細データの情報が表示されます。ダッシュボードはデータのカスタムグループで、ジオキャッシングのような特定/通常のタスクに役立ちます。地図上のデータフィールド, ダッシュボード, コンパス, トリップコンピューター, 高度表示, ステータスページをカスタマイズ出来ます。

マップデータフィールドを有効にする

1 **Map** > ☰ > **Setup Map** > **Dashboard**を選択します。
2 **Small Data Fields** 又は **Large Data Fields**を選択します。

データフィールドのカスタマイズ

マップデータフィールドを変更する前に、それらを有効にして下さい(p. 8)。

1 ページを選択します。
2 データフィールドを選択します。
3 データフィールドカテゴリーとデータフィールドを選択します。
  例：**Trip Data** > **Speed - Moving Avg**を選択します。

ダッシュボードのカスタマイズ

1 ページを選択します。
2 オプションの選択：
  ・ 地図から ☰ > **Setup Map** > **Dashboard**を選択します。
  ・ コンパス、トリップコンピューター、あるいはステータスページから ☰ > **Change Dashboard**を選択します。
3 ダッシュボードを選択します。

トラックの設定

Settings > **Tracks**を選択します。

Recording: トラックの記録のON/OFFを設定します。

Show on Map: 地図上のトラックログ表示の有無を設定します。

Color: 地図上のトラック線の色の設定をします。

Record Method: トラック記録方法の設定をします。**Auto**の場合、可変レートにより現在のトラックを最適にします。

Interval: トラックログの記録間隔の設定をします。記録間隔が狭ければ、より詳細なトラックが作成されますが、すぐにメモリーがいっぱいになります。

Auto Archive: 自動アーカイブ方法を設定する事により、トラックを整理します。トラックは自動で保存・クリアされます。

ルートの設定

デバイスはアクティビティタイプにより最適化されたルートを計算します。選択したアクティビティにより有効なルート設定が異なります。

Settings > **Routing**を選択します。

Navigation Voice: ナビゲーションの音声・言語を設定します。

Activity: ルートのアクティビティを選択します。デバイスはアクティビティにより最適化されたルートを計算します。

Route Transitions: デバイスがルート上の１点からもう１点へどのように道を決めるか設定します。この設定はいくつかのアクティビティでのみ有効です。**Distance**は現在地の特定の距離内にいる時、ルート上の次のポイントまでの道を決めます。

Lock on Road: 地図上の現在地を示している青色の三角印を近くの道路へ補正します。

測定単位の変更

距離、速度、高度、深度、温度、気圧、垂直速度の測定単位の変更が行えます。

1 **Settings** > **Units**を選択します。
2 測定タイプを選択します。
3 測定単位を選択します。

位置フォーマット(Position Format)の設定

NOTE: 別の位置フォーマットで規定されている地図やチャートを使っていない場合、デバイスの位置フォーマットや測地系を変更しない方が良いでしょう。

Settings > **Position Format**を選択します。

Position Format: 位置フォーマットを選択します。
※初期設定は『hddd°mm'ss.s"』

Map Datum: 測地系を選択します。
※初期設定は『WSG84』

Map Spheroid: デバイスが使用している座標系が表示されます。初期設定は『WGS 84』

方位の設定

コンパス設定をカスタマイズ出来ます。

Settings > **Heading Settings**を選択します。

Display: コンパスに表示される方位タイプを選択します。
※初期設定は『Numeric Degree』

North Reference: コンパスの方位基準を設定します。
※初期設定は『Magnetic』

Go to Line/Pointer: 目的地の方向を示す方位ポインター、あるいは、目的地へ導くコースラインとの関係を示すコースポインターを使うことが出来ます。

Compass: 一期間で速度が高速となる時、自動的に電子コンパスからGPSコンパスへ切り替えます。

Calibrate Compass: もし、コンパスの動きが異常な場合、(例：長距離移動後、激しい温度変化後等)、コンパスの校正を行う事ができます。p.5をご参照下さい。

高度の設定

Settings > **Altimeter**を選択します。

Auto Calibration: デバイスに電源が入る度に、自動的に高度の校正を行います。また、デバイスがGPS信号を受信している間は自動的に高度の校正をし続けます。

Barometer Mode: **Variable Elevation**は移動中、気圧計が高度の変化を測定します。**Fixed Elevation**は、デバイスが一定の高度で動かないものとして仮定されます。そのため、気圧は天候の状態のみで変化します。

Pressure Trending: デバイスの気圧データの記録方法を設定します。**Save Always**は気圧前線を見ている時には役に立ちます。

Plot Type: 一定期間/距離で高度の変化を記録、又は、一定期間の気圧を記録、または、一定期間の環境気圧の変化を記録します。

Calibrate Altimeter: 正しい高度や気圧の値を知りたい場合、気圧高度計の校正が出来ます。p. 5をご参照下さい。

Proximityアラーム設定

Settings > **Proximity Alarms**を選択します。

Radius Units: 近接範囲の値を設定します。

Enable Alarms: 全proximityアラームのON/OFFを設定します。

Vibrate: proximityアラーム発動時にデバイスが振動します。

Proximity Tones: proximityアラーム発動時、音を発します。

Approaching Alarm Tone: 設定された近接範囲内に入った時に知らせる音を設定します。

Leaving Alarm Tone: 設定された近接範囲内から外れた時に知らせる音を設定します。

ワイヤレスネットワークの設定

※ご注意：本製品は日本国内での技術基準適合証明を取得しておりません。
日本国内でのご使用は電波法に抵触いたします。

1 **Settings** > **Wi-Fi**を選択します。
2 必要であれば、Wi-FiのスイッチをONにします。
3 必要であれば、**SCAN**でネットワークをスキャンします。
4 ワイヤレスネットワークを選択します。
5 必要であれば、暗号キーを入力します。

デバイスはワイヤレスネットワークへ接続します。デバイスは自動的にネットワーク情報を覚え、次に行う時に自動で接続します。

Bluetooth®機器とのペアリング

※ご注意：本製品は日本国内での技術基準適合証明を取得しておりません。
日本国内でのご使用は電波法に抵触いたします。

1 **Settings** > **Bluetooth**を選択します。
2 Bluetooth項目でONにします。
3 必要に応じて、**Search for Devices**で近くのデバイスをスキャンします。
4 デバイスを選択します。
5 画面の指示に従ってペアリングを完了させて下さい。

ANT+®センサーとのペアリング

※ご注意：本製品は日本国内での技術基準適合証明を取得しておりません。
日本国内でのご使用は電波法に抵触いたします。

ペアリングはANT+ ワイヤレスデバイスとの接続です。
例：tempe温度センサーとGARMINデバイスとの接続

1 デバイスをセンサーの3m以内に持っていきます。
NOTE: ペアリング中は、他のANT+センサーとの距離を10m以上あけて下さい。
2 **Settings** > **More** > **ANT+ Sensors**を選択します。
3 センサーのペアリングを有効にする為、切り替えを選択下さい。

デバイスは自動的にセンサーを検索し、ペアリングします。

機内モードを有効にする

機内モードはデバイス内の全ての受信機能等(GPS,ワイヤレスネットワーク,ANT+センサー機能等)を無効にします。
上記の機能を使用しない時、電池寿命を節約できたり、飛行機内などの送受信機の使用が禁止されている場所で役に立ちます。

Settings > **More** > **Airplane mode**を選択します。

プロフィール

プロフィールはどのようにデバイスを使用しているかに基づき最適化されたデバイスの設定のコレクションです。例：ハンティング時とジオキャッシング時の設定は異なります。

データフィールドや計測単位の変更等、設定の変更やプロフィールを使う時、プロフィールの一部として自動的に変更が保存されます。

プロフィールの選択

アクティビティを変更した時、プロフィールの変更によりデバイスの設定が出来ます。

1 **Settings** > **Profiles**を選択します。
2 プロフィールを選択します。
3 **Make Current**を選択します。
4 オプションでお知らせからプロフィールへの切り替えを有効に出来ます。
これはプロフィールの切り替えを頻繁に行う時に便利です。

カスタムプロフィールの作成

特定のアクティビティ用に、ホーム画面、設定、データフィールドの変更が行えます。

1 **Settings** > **Profiles**を選択します。
2 ✚ を選択します。
3 名前を入力し、**Done**を選択します。

新しいプロフィールは保存され、有効なプロフィールとなります。

4 ホーム画面、設定、データフィールドをカスタマイズします。

プロフィール名のカスタマイズ

1 **Settings** > **Profiles**を選択します。
2 プロフィールを選択します。
3 **Edit Name**を選択します。
4 新しい名前を選択します。

プロフィールの削除

1 **Settings** > **Profiles**を選択します。
2 プロフィールを選択します。
3 **Delete**を選択します。

サウンドの設定

Settings > **Sound**を選択します。

Volumes: メディア、お知らせ、アラーム等の音量を設定します。

Silent Mode: サイレントモード(消音)になります。

Default notification: 初期設定時のお知らせ音を設定します。

Vibrate and ring: サイレントモードが無効の時、お知らせの振動設定をします。

High Power Audio: 内蔵スピーカーの音量を最高にします。

NOTE: この機能はさらに電力を使用し、カメラ機能を一緒に使用したりバックライトの明るさが高い場合、予期せずデバイスが終了してしまう原因にもなります。また、電池寿命を短くする原因にもなります。

Touch sounds: キーボード等の画面上の操作で音が鳴ります。

Screen lock sound: 画面のロック/解除時に音が鳴ります。

Vibrate on touch: 画面上のものをタッチした時、デバイスが振動します。

画面の設定

Settings > **Display**を選択します。

Color Mode: 明るいバック画面、暗いバック画面の切り替えを現在地の日の出・日の入時刻間で自動で行います。

Glove Mode: 手袋着用中のタッチスクリーン感度を上げます。

Brightness: バックライトの明るさを設定します。

Wallpaper: 選択されたプロフィールからホーム画面の壁紙設定をします。

Screen Orientation Lock: 画面の向きを垂直、または水平にロックする、あるいはデバイスの向きにより自動的に画面の向きが変わるよう設定する。

Backlight Timeout: バックライトが消えるまでの時間を設定します。

Sleep: デバイスが省電力スリープモードになるまでの時間を設定します。

Font Size: 文字のサイズの設定をします。

アカウントの追加

アプリケーションの購入やデータをシンクロさせる為にデバイスにアカウントを追加できます。

1 **Settings** > **Accounts & Sync** > **Add Account**を選択します。
2 アカウントタイプを選択します。
3 画面の指示に従って下さい。

ロック画面セキュリティの変更

セキュリティとしてパターン、パスワード、又は画面のロック解除のPINを要求されます。ロック画面の無効も可能です。

1 **Settings** > **Security** > **Screen lock**を選択します。
2 ロック画面オプションを選択します。
3 必要に応じて画面の指示に従い、セキュリティパターン、パスワード、PINを作成します。

言語と入力の設定

Settings > **Language & input**を選択します。

Language: 表示される文字の言語を選択します。

Spelling correction: 文字入力時に、スペルチェックを行う事が出来ます。

Personal dictionary: スペルを使って、辞書によく使う単語を追加できます。

Default: 初期設定時の入力方法を設定します。

Voice Search: 音声検索の好みを設定します。

Text-to-speech output: 文字を音声に変換するソフトウェアと好みを設定します。

Pointer speed: デバイスでBluetoothマウスを使う時のマウスポインターの速さを設定します。

データのバックアップ

Googleアカウントに、アカウント、設定、ワイヤレスネットワークパス、アプリケーションデータをバックアップする事が出来ます。

1 **Settings** > **Backup & reset** > **Back up my data**を選択します。
2 必要に応じて、バックアップデータのための**Backup account**を選択します。
3 **Automatic Restore**はアプリケーションの再インストール時に自動でバックアップアカウントから復元する事が出来ます(オプション)。

工場出荷状態に戻す

お知らせ

工場出荷状態に戻すと保存されているデータ等は復元できませんのでご注意下さい。

デバイスを工場出荷状態に戻すことが出来ます。全てのアプリケーション、アカウント、ユーザーデータが消去されます。上記のデータバックアップで説明している項目については、リセット後に復元できるかもしれませんが、その他のデータについては復元できませんので、工場出荷状態に戻す前には全てのユーザーデータをパソコン等にバックアップとる事をお勧め致します。

Settings > **Backup & reset** > **Factory data reset**を選択します。

日時の設定

Settings > **Date & time**を選択します。

Automatic date & time: GPS衛星またはワイヤレスネットワークより自動的に設定します。

Automatic time zone: 現在地に基づき、自動的に時間帯を設定します。

Set date: 日付を設定します。この設定は**Automatic date & time**が有効の時、設定できません。

Set time: 時間を設定します。この設定は**Automatic date & time**が有効の時、設定できません。

Set time zone: 時間帯を設定します。この設定は**Automatic time Zone**が有効の時、設定できません。

Use 24-hour format: 24時間表示に設定します。

Select date format: 日付表示の形式を設定します。**Regional** は設定された言語に基づき自動的に設定されます(p.10)。

デバイス情報

電池について

⚠ 注意

デバイスの温度定格は電池により使用範囲を超える事がございます。アルカリ電池は高温になると破裂しますので注意して下さい。

電池を取り外すときには鋭利な物で取り外さないで下さい。

⚠ 警告

電池を処分する時にはお住まいの自治体で定められた方法で処分して下さい。

お知らせ

アルカリ電池は温度が低下すると、より電池を消耗しやすくなります。氷点下等の環境下ではリチウムイオン電池をご使用下さい。

電池寿命を最大限長持ちさせる

- バックライトの明るさ、バックライト消灯時間、スリープまでの時間を少なくします (p. 10)。
- 機内モードにします(p. 9)。
- カメラを使用しない時にはカメラ機能を終了します。
- トラックを記録する必要が無いときには、記録を一時停止します (p. 4)。
- GPSを使用しない時にはOFFにします(p. 2)。

デバイス充電時に省電力モードにする

充電時、いくつかの機能をOFFにして、 省電力モードにする事が出来ます。

1. GPS機能をOFFにします (p.2)。
2. トラックの記録を一時停止にします(p. 4)。
3. 外部電源機器へデバイスを接続します。
4. ⏻を押して画面表示をOFFにします。

長期間使用しない場合

デバイスを数か月間使用しない場合には、デバイスから電池を取り外して下さい。電池を外しても、保存済のデータは消去されません。

デバイスのケアについて

お知らせ

長時間、高温になる場所にデバイスを放置しないで下さい。破損や故障の原因となります。

タッチスクリーン操作時に、固い物や鋭利な物で操作しないで下さい。破損や故障の原因となります。

化学洗浄剤や溶剤を使用しないで下さい。プラスチック部分の破損や変形等の原因となります。

mini-USBポートの破損・故障を防ぐため、カバーを確実に閉めて下さい。

デバイスのクリーニング

1. 薄めた洗浄液を湿らせた布でデバイスを拭いて下さい。
2. 乾かして下さい。

タッチスクリーンのクリーニング

1. 柔らかく、清潔な、糸くずの出ない布を使います。
2. 必要に応じて、布を少し水で濡らします。
3. 少し濡らした布で拭くばあいは、デバイスの電源を落とし、コンセントやパソコンなどから接続を外して下さい。
4. 布を使い優しくふき取ります。

浸水について

お知らせ

このデバイスはIEC基準 60529 IPX7の防水性能があります。水深1mで30分間の水中に耐えることが出来ますが、長時間、水没させるとデバイスの故障の原因になります。水没してしまった後は、使用前あるいは充電前にデバイスをよく拭き、よく乾燥させて下さい。

仕様

電池タイプ	リチウムイオン電池パック、単三電池 (アルカリ,ニッケル水素, リチウムイオン)
電池寿命	リチウムイオン電池パック: 16時間 単三電池: 22時間(電池の種類により異なります)
防水	IEC 60529 IPX7
動作温度範囲	-4ºF～158ºF (-15ºC～70ºC)
充電温度範囲	32°F～113°F (0°C～45°C)
ラジオ周波数/プロトコル	ANT+ﾜｲﾔﾚｽﾃｸﾉﾛｼﾞｰ; Bluetoothﾜｲﾔﾚｽﾃｸﾉﾛｼﾞｰ; Wi-Fi IEEE 802.11b/g/n(2.4GHz)
ステレオヘッドフォンジャック	3.5 mm

データ管理

NOTE: デバイスはWindows 95, 98, Me, Windows NT®, Mac OS 10.3以前のOSには対応しておりません。

ファイル形式

ハンドヘルドデバイスは3つの形式に対応しております

- BaseCampまたはHomePort®からファイルする。www.garmin.com/trip_planningをご参照下さい。
- GPX トラックファイル
- GPX ジオキャッシュファイル
- JPEG 写真ファイル
- GPI Garmin POI LoaderからのカスタムPOI www.garmin.com/products/poiloaderをご参照下さい。
- FIT Garmin Connect®にエクスポートするファイル

メモリーカードの装着

microSD®カードや地図が入ったカードを装着できます。

1. Dリングを反時計回りに回し、電池蓋を取り外します。
2. 電池もしくは電池パックを取り外します。
3. 電池を入れる場所の中のカードフォルダー① をスライドして持ち上げます。



4. メモリーカード ②を金色の端子が一致するように置きます。
5. カードフォルダーを閉じます。
6. カードフォルダーをスライドし、ロックします。

7 電池もしくは電池パックを戻します。
8 電池蓋を戻し、Dリングを時計回りに回します。

デバイスとコンピューターを接続する

お知らせ

腐食を防ぐ為、充電前やパソコンに接続する際には、mini-USBポート、ヘッドフォンジャックとその周辺を完全に乾燥させてから行って下さい。

コンピューターに接続中、デバイス操作をする前に、電池を装着しなければなりません。コンピューターのUSBポートはデバイス操作に十分な電力供給を行いません。

1 mini-USBポートのカバーを外します。
2 USBケーブルの一方をmini-USBポートに差し込みます。
3 USBケーブルのもう一方をコンピューターのUSBポートに差し込みます。

Windowsではデバイスはリムーバブルドライブまたはポータブルデバイスとして表示され、メモリーカードは2番目のリムーバブルドライブとして表示され、Macではデバイスとメモリーカードはマウントボリュームとして表示されます。

デバイスにファイルを送信する

1 デバイスをコンピューターへ接続します。

Windowsではデバイスはリムーバブルドライブまたはポータブルデバイスとして表示され、メモリーカードは2番目のリムーバブルドライブとして表示され、Macではデバイスとメモリーカードはマウントボリュームとして表示されます。

NOTE: コンピューターによっては複数のネットワークドライブにより表示されない場合があります。オペレーティングシステムをご参照下さい。

2 パソコン上でファイルブラウザを開きます。
3 ファイルを選択します。
4 **Edit** > **Copy**を選択します。
5 デバイスまたはメモリーカードのドライブ又はボリュームを開きます。
6 フォルダーが見えます。
7 **Edit** > **Paste**を選択します。

貼りつけたファイルがデバイスまたはメモリーカード内のファイルのリスト上に表示されます。

ファイルを削除する

お知らせ

ファイルの目的が不明なファイルは削除しないで下さい。デバイスのメモリーには削除してはいけない重要なシステムファイルが含まれています。

1 **Garmin**ドライブまたはボリュームを開きます。
2 必要に応じてフォルダーを開きます。
3 削除したいファイルを選択します。
4 キーボードの**Delete**キーを押して削除します。

USBケーブルの接続を外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピューターに接続させている場合、データ損失を防ぐ為、安全に接続を外さなければなりません。デバイスがポータブルデバイスとしてWindowsコンピューターに接続されている場合、この操作は必要ありません。

1 操作:
   - Windowsの場合、システムトレイにある**Safely Remove Hardware**アイコンを選択し、デバイスを選択します。
   - Macの場合、ボリュームアイコンをごみ箱にドラッグします。
2 コンピューターからケーブルを外します。

トラブルシューティング

デバイス情報を見る

デバイスのID、ソフトウェアバージョン、ライセンス協定を見ることが出来ます。

Settings > **About Monterra**を接続します。

ソフトウェアの更新

NOTE: ソフトウェアの更新で、データや設定が削除される事はございません。

1 USBケーブルでデバイスとコンピューターを接続します。
2 **Webupdater**を以下URLよりインストールします。

www.garmin.com/products/webupdater.

3 画面の指示に従って下さい。

デバイスのリセット

もしデバイスが何も反応しなくなった場合、リセットする必要があります。データや設定は削除されません。

1 電池を取り外します。
2 電池を入れ直します。

デバイスの登録

よりよいサポートのため、デバイスの登録をお勧めします。

- http://my.garmin.comへアクセスします。
- 購入時の納品書、保証書等は大切に保管して下さい。

アフターサービス

正常なご使用状態で補償期間中、故障した場合は保証書と共に本体(必要に応じて付属品)を弊社へお送り下さい。

保証内容は保証規定に記載した通りです。

補修部品の保存期間は製造停止後５年間です。

修理時、代替品を使用させて頂く場合もございます

ご使用状況によっては精度が使用通りにならない場合もございます。

保証規定

1. 本取扱説明書に従ったご使用状態で万が一故障した場合、ご購入日より一年間無償で修理致します。
2. 修理の必要が生じた場合、製品に保証書を添えて、送料お客様ご負担で弊社までお送り願います。
3. 保障期間を問わず以下の場合の修理は有償となります。

A. 誤用、乱用、取扱いの不注意による故障
B. 天災、盗難等の災害による故障
C. 不当な修理、改造、異常電圧による故障
D. 使用中に生じた傷等の外観の変化、変形
E. 保証書の提示が無い場合、ご購入日の記載がない場合

GARMIN　Monterra™【モンテラ】保証書

保証規定の内容により無料で修理及び調整を行なうことをお約束するものです。

ご購入日：　平成　　　　　年　　　　　月　　　　　日 お客様名：
ご住所： 電話番号: 電子メールアドレス:
故障内容:

株式会社アイ・デイー・エー
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-35-2 第三シンヤシキビル201
TEL：(03) 3460 8230　　FAX：(03)3460 8237,　email: sales@ida-japan.co.jp